

I 2030年代の三鷹の子どもたちを取り巻く状況

- 予測困難な時代 (人口減少・少子高齢化)
- デジタル技術の進展 (公共施設の老朽化 など)

コミュニティ・スクール、小・中一貫教育、教育支援などの取組を更に発展

II 三鷹のこれからの教育

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向けて
(個人と社会のウェルビーイングの実現)
主体的に「人間力」「社会力」を発揮

【一人ひとりを大切にする教育】

- 個別最適な学び
- 協働的な学び

デジタル技術の活用

- 新たな学びにおけるベスト・ミックスの追究
- 更なる学びに繋げる評価とフィードバックのあり方
- 支援を必要とする子どもたちへのきめ細かな対応

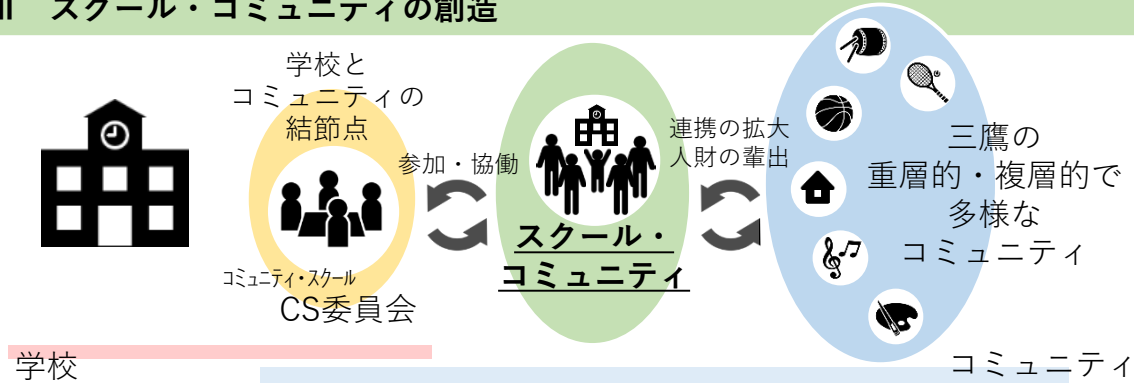
【一人ひとりが大切にされる環境整備】

- 安全・安心・快適 (学びの集団、施設・設備)
- 教職員の幸せ (ウェルビーイング)
- 学校生活の見直し

地域資源の活用・地域での学び

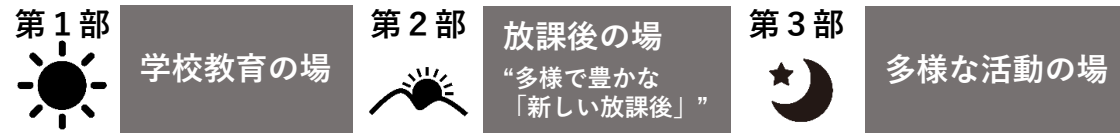
学校や子どもたちを「縁」とした「つながり」
スクール・コミュニティ

III スクール・コミュニティの創造

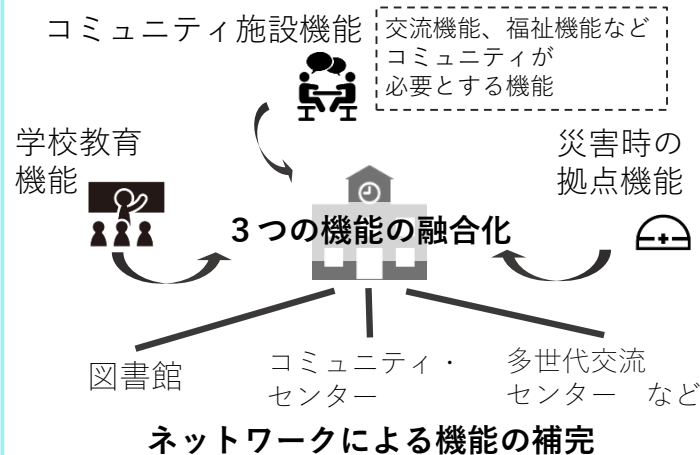


スクール・コミュニティの創造を加速する学校のあり方
地域の共有地（コモンズ）としての学校への移行

「学校3部制」



IV これからの学校施設



V 施策の推進方策

教育行政の枠を超えて
新たな取組に挑戦

モデル事業などの活用

「競争」から
「共創」への転換

全国への発信・共有